

Japanese Association of Social Workers since1960

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

2019 年度年次大会 in 福島



ソーシャルワークとともにある未来-福島からの発信-

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
2019年度年次大会 in 福島 開催要項

【開催の趣旨】

東日本大震災では、地震・津波に加え、人災の原発事故が重なり、福島県民のみならず広域に影響を与え続けている。被災した人々を受け入れ、支援をしてきた多くの専門家や一般の人々は、ソーシャルワークの価値やスキルに基づき、傾聴や受容、共感、自己決定の尊重などの実践を軸に新しい活動を現在も展開している人々が多く存在している。今大会では被災地や国内外でのソーシャルワーク活動に注目し、福島から未来につなぐソーシャルワークを発信する。

福島で行われている被災者への実践を集約し、そこから必要とされるソーシャルワーク実践を明らかにし、災害時のみならず未来のための防災ソーシャルワークを考えていきたい。

【期 日】： 2019年5月25日（土）、26日（日）

【会 場】： 医療創生大学3号館3-101（メイン会場）

【主 催】： 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

【後 援】： （予定）

公益社団法人日本医療社会福祉協会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、福島県、いわき市、福島県社会福祉協議会、いわき市社会福祉協議会、福島県社会福祉事業団

（順不同）

【定 員】： 150名（先着順）

【参加費】： （1）2018年度年次大会 in 福島参加費 ※当日会場にてお支払ください

①会員参加：2,000円

②一般参加：2,000円

③学生参加：1,000円 ※医療創生大学生、国際医療福祉大学生 無料

④懇親会費：8,000円（懇親会参加者のみ）

（2）オプションスタディーツアー（バスツアー）

①参加費：7,000円（バス利用料、昼食、保険料、資料代込み）

【宿 泊】： スパリゾートハワイアンズにご宿泊を希望される方のみ当協会が手配します（1泊約13,000円）。また、ご宿泊を希望される方は東京、埼玉、千葉等からスパリゾートハワイアンズまでの無料送迎バスが利用可能ですので、お申込み頂いた後にご案内します。

【申込締切】： 2019年5月10日（必着）

【申 込 先】： 別添申込書に必要事項をご記入いただきQRコードかFAXにてお申込みください。

特定非営利活動日本ソーシャルワーカー協会事務局

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町3-7 森山ビル西館401号室

TEL：03-5913-8871 FAX：03-5913-8872



【1日目：5月25日（土）】会場 3号館3-101教室（開場・受付：12時30分～）

○年次大会（福島大会）「ソーシャルワークとともにある未来 - 福島からの発信 - 」

午後1時40分～：開会挨拶 大会長 岡本民夫（日本SW協会会長/同志社大学名誉教授）
実行委員長 鎌田真理子（日本SW協会理事/医療創生大学教授）

午後1時50分～：基調講演 「「ジェントルティーチング」への理解」（仮）
村田清氏（白河学園施設長/郡山女子大学非常勤講師）

午後2時50分～：（休憩）

午後3時00分～：シンポジウム「防災とソーシャルワーク」
園部 義博氏（(N)地域福祉ネットワークいわき事務局長）
渡辺 幸雄氏（介護老人保健施設檜葉ときわ苑相談役）
長谷川秀雄氏（(認N)いわき自立生活センター理事長）
高瀬 芳子氏（福島県教育事務所スクールソーシャルワーカー）
コーディネーター 鎌田真理子（日本SW協会理事）

午後4時20分～：（休憩・各分科会へ移動）

○分科会（午後4時30分～5時50分）3-301

【第1分科会】「多文化共生とソーシャルワーク」（会場：3号館3-301教室）

外国人労働者の受け入れを拡大する改正出入国管理法（入管法）が2019年4月施行される。日本の人口減少が止まらない中、外国人労働者や技能実習生の受け入れ、第三国定住による難民の受け入れなどが進み、これまで以上に外国人との共存共栄を考えなければいけない。東日本大震災の被災地福島も論外ではない。生活上の困難を抱える滞日外国人支援の話も耳にするようになり、その現状や支援に関する知識、情報は不足していると言っている。このような状況を踏まえて、「多文化共生とソーシャルワーク」をテーマに議論したい。

【発言者】：菊地達美（日本SW協会会員）
毛利公一（日本SW協会青年部委員会委員）
照井義勝氏（いわきNPOセンター理事長）
大友崇義（日本SW協会理事）

【司会】：松永千恵子（日本SW協会理事）

【第2分科会】「若手ソーシャルワーカーのジレンマ」（会場：3号館3-302教室）

東日本大震災以後、被災地には内外からの多くの支援者が生まれた。彼ら彼女らの活動はまさにソーシャルワークそのものに見えるが、「ソーシャルワーカー」とは名乗っていない。彼ら彼女らの活動を通してソーシャルワークとは何か？ソーシャルワーカーとは何かについて考えたい。

【発言者】：落合孝行氏（一般社団法人りぷらすSWr）
日野宏敏氏（株式会社とやけの森代表）
高石 豪（日本SW協会青年部委員長）

【司会】：末永亜衣（日本SW協会青年部副委員長）

○インフォーマルミーティング（懇親会）

時間：午後7時～

会場：スパリゾートハワイアンズ

【2日目：5月26日（日）】

○特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 2019 年度年次総会

時間：午前11時～12時

会場：スパリゾートハワイアンズ会議室

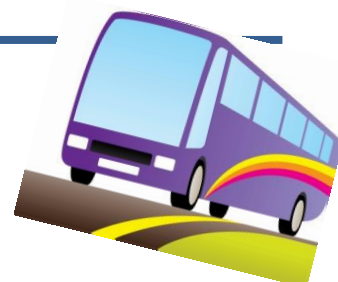
○原発被災地をめぐるスタディツアー（バスツアー）

時間：午後1時～午後4時（予定）

◆マスメディアでは伝えきれていない原発被災地の実情をバスで巡ります。

◆最少催行人数は20名程度とします。

◆ツアー内容（訪問先予定：大熊町、双葉町、富岡町等）



【会場のご案内】

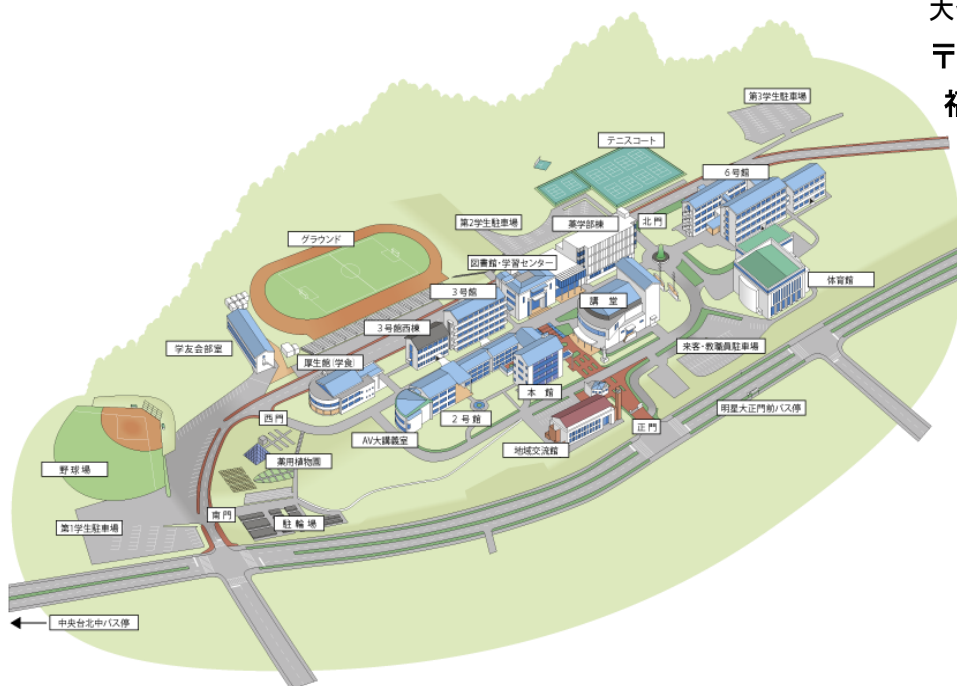
大会会場：医療創生大学

〒970-8551

福島県いわき市中央台飯野5-5-1

<主要都市からのアクセス>

- 東京から（高速バス約3時間）
東京駅八重洲南口～いわき駅
- 仙台から（高速バス約3時間）
仙台駅東口～いわき中央 I.C
- 郡山から（高速バス約1時間半）
郡山駅～いわき駅



【無料送迎バス（スパリゾートハワイアンズ宿泊者限定）】

東京日本橋口、北千住駅西口、新宿西口、池袋西口、立川駅、横浜駅東口、大宮駅、松戸西口、西船橋、千葉・つくば、研究学園駅からの無料送迎バスが利用できます。スパリゾートハワイアンズへのご宿泊希望者にはお申込み受付後にご案内します。

特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町四谷三栄町 3-7 森山ビル西館 401 号室

TEL 03-5913-8871 FAX 03-5913-8872 E-mail: jasw@jasw.jp